

社会科補足その2

MISSION 1

データブックその2が終わっていたら、世界各国要覧のオセアニア(pp.457-475)の範囲にある各国の「日本の対〇〇(国名)貿易」の部分に**緑色でチェック**を入れましょう。

MISSION 2

『日本のすがた 2020』

世界の貿易

世界の国々には、自分の国にはない、あるいは十分にあるとはいえない商品を入力し、かわりに、自分の国の得意な分野の商品を輸出することで国民の生活をささえています。

中国は世界の工場とよばれ、2009年から輸出が世界一となり、輸出全体の約2割がアメリカ向けです。いっぽう、アメリカは世界一の輸入国で、貿易赤字も世界最大です。貿易

赤字の約半分は中国との貿易からきていて、両国の貿易摩擦は近年特にはげしくなっています。その中で、中国が貿易や投資などの国際ルールを守っていないとして、アメリカは2018年7月から中国からの輸入品に追加の関税をかけ、中国も同じように関税をかけて対抗したことから、※中貿易戦争がはじまりました。2019年12月に両国の交渉で一時休戦がまじりましたが、この対立が本当におさまるのか心配されています。

- ①自分が「なるほど!」「勉強になった!」「みんなに知ってほしい」とおもったところを鉛筆でマークや、ふせんなどにメモしよう。
- ②「〇〇(国名)輸出額と輸入額の差に注目しよう」など、コンセプトを明確にしましょう。

④世界各国の貿易額 (2018年) (単位 億ドル)

	輸出	輸入		輸出	輸入
アメリカ合衆国	16,641	26,143	インド	2,995	5,489
中国	22,804	18,423	シンガポール	2,985	2,985
ドイツ	15,610	12,855	スペイン	2,985	2,985
日本	7,382	7,483	ロシア	2,985	2,985
フランス	5,811	6,722	台湾	2,985	2,985
韓国	6,048	5,352	アラブ首長国連邦	2,985	2,985
(香港)	5,312	6,029	タイ	2,985	2,985
イギリス	4,681	6,523	オーストラリア	2,985	2,985
オランダ	5,856	5,214	オーストラリア	2,985	2,985
イタリア	5,349	4,902	ベトナム	2,985	2,985
メキシコ	4,506	4,643	マレーシア	2,474	2,175
ベルギー	4,644	4,479	スイス	2,385	2,065
カナダ	4,500	4,590	ブラジル	2,397	1,886

③根拠を明確にすることが大切。

「①・②をもとに問題をつくるために、根拠となる資料はこの部分を使おう」と選び、問題のイメージを固めていこう。

※技能の問題なら一つの根拠(統計資料)と一つの見解(意味)を導くのが基本。

<選択肢をつくる場合>

- ア アメリカ合衆国の〇〇は△△である。
- イ 中国の〇〇は××である。
- ウ ドイツの□□は▲▲である。
- エ 日本の□□は●●である。

最初に正解となる選択肢をつくってみよう。

正解の選択肢と明らかに違うものや、似ているものなどいくつかバリエーションを考えてみよう。
※バリエーションを考えるためには、資料を読み込む必要がありますが、これがとても良い勉強になります!

※1回目の電話後のQ&Aでも補足しましたが、4択問題は作問が難しいので1問挑戦するくらいのイメージでよいです。

MISSION 3

4 おもな伝統的工芸品

◇「織物・そめものなど」にある**有松・鳴海しぼり**は地図帳P.107 から探してみよう。

◇「その他のおもなもの」に関しては、地図帳に「伝統的工芸品」の記号で載っていないものもあります。

Mission4 (日本史の用語集)・6 (問題集)もあるので、歴史の勉強を進めるうえでポイントを示しておきます。

※単元の問いについては、提出された全員分をパソコン上でデータにし、解析をしています。今回の課題補足でみなさんに案を示したかったのですが、間に合いませんでした。ごめんなさい。

★中1で勉強した歴史のポイント★

①人間の脳の大きさは今も歴史上の時代も同じである！

したがって、人として発想することもできることも基本的には同じ！(ただし、時にはすごい人、天才的な人がいるし、現代と比べると「技術力」には差がある。)

→教科書に載っている資料の「絵画」は基本的に現在でいうところの「写真」です。なので、そこに出ている人は何をするのようになっているか、何を持っているかを考えるとそこに資料が載っている意味が見えてきます。

②人間は道具を使う。

意思疎通には「文字」、「歌」、「贈り物」など。衣(着るもの)食(食べ物)住(建物)、武器(そろそろ鉄砲が出てきますね。小学校でも勉強した通り「てつはう」は全く別のもので)、宗教(三大宗教の中で日本は比較的仏教が盛んでした)、移動手段(重たいものは船しかない!)、組織(武士:幕府、天皇:律令制)など、技術の発達とともにできることは増え、新しい発想のものが出てきます。ここ 10 年くらいの生活でもスマホとアプリという「道具」は人々の生活を劇的に変えました。

③道具を使う＝お「金」やその技術をもっている「人」が必要。

そのため、組織や地の利、人の感情(仲間、敵、恨み…など)を活用する。

→現在でも会社を経営するために必要な資源は「人、モノ、カネ」と言われます。なぜ、守護大名が増えて、戦国大名が増えたの?という「はてな?」はよくわかります。現在もとても有名な大企業とよばれる会社もあれば、小さい会社もありますね。戦国時代はこれまであった「平氏」「源氏」「北条氏」「足利氏」のような朝廷にも張れるような1強の武士ではなく、同じくらいの力をもった武士たちがたくさん出てきて、「自分が一番になる!」と考えた時代です。

なぜ、同じように様々な技術が日本中に広がった?のでしょうか。この時代に日本全国に様々な文化が広がった?そう、この「人、モノ、カネ」が集まる京都で事件が起こったからです。そう、そこで自分の身が危くなるような「戦い」が起こったら?みなさんはそこに居続けますか?そう、京都から離れて生きていくことを選んだ人がたくさんいました。その結果、人=技術は全国に散らばり、そうした人が行き着いた場所は「モノ」と「カネ」がある場所です。つまり、地方の中でも都市と呼べるような建物があり、ルールがあり、もともとの京都に近いような暮らしができる場所でした。おお、その時に「モノやカネ」を提供してくれそうな「社長」たちがたくさん全国にいましたね…と。

こういう人としての「命が大事」、「住むならいい生活がしたい」、「引っ越すとしても自分の力が発揮できる場所がいい」という発想は何となく共有できるでしょう。そのあと、その居心地がよくなれば、わざわざ平和になった京都に戻らなくても生きていくことができるはずですよ。そうして、全国に技術を持った人が散らばり、そこにある「モノ」を使って作ったため、様々な「道具」の技術的な発展につながった面があります。

④日本は島国である！(=新たな歴史のポイント！)

元寇は小学校でも勉強しましたね。もう一度、元軍のような大勢力が戦国時代に攻め込んできていたら?あるいはこれから出てくるスペイン、ポルトガル、イギリス、フランスなどの欧米列強が戦国時代に攻め込んできていたら?おそらく歴史は大きく変わっていただいでしょうね。でも、そうならなかったのは、日本は島国でどんなに強い国でも攻め込むのがとても難しいという地の利によっています。中学校の歴史は注意しないと日本だけで歴史が完結しているように見えてしまうのは、日本が島国で日本に自由に人が行き来をできなかったことに起因します。

こういった1年生の時の歴史のポイントを少し振り返りながら、歴史の流れをつかんでみてください。その時、権力は誰が握っていたのか。お金は誰が持っていた？技術は？先生は？宗教は？など、その時の歴史背景を考えながら読み込んでいきましょう。未来が読めない今だからこそ、歴史に学ぶことは多いですよ。

Mission5 ニュースカードについて

前回の課題配布日に回収したニュースカードの結果をお伝えします。

まず、「A」をとれた人が70.4%。その中の2割の人は「A+」の出来です。「A」をとれている人はニュース要約が3行目に入っている(文字は「普通」の大きさ)で、持論は必ず「賛成です。なぜなら、〇〇だからです」のように、1文目と2文目を条件①通りに書けています。「A+」の人は3行フルで要約を書き、さらに持論の3文目に自分の意見を載せている人、さらにレベルの高い人は別の意見も検討しています。中2段階では自分とは異なる意見を想定することは大切です。

次に、B評価の人は15.6%です。理由はほぼ同じです。もう少し書いていればAの人も多く、実力的にはAの人はもう少し課題に時間をかけることができなかつたか、生活を振り返ってもらいたいです。

その①「条件①」が達成されていないもの。

→1文目は必ず「賛成・反対」を書く。2文目は必ず「なぜなら～からだ」と理由を書く。特にコロナ関連のニュースはそのまま内容を書くと賛成・反対が書きにくい(事件・事故の類になりがち)。ニュースに論点(意見の相違が出るポイント)が出るようにまとめる力を磨きましょう。

×「緊急事態宣言が延長になった」

その②記述量の絶対量が少なく、要点が理解できているかがよく読み取れないもの。

→課題をやる以上、「課題をきちんとやった」ことをわかるように示す必要があります。要約が1行しかない、ニュースカードをやる意味も半減するし、「課題自体をきちんとやっているね」と先生も言いにくい。そのニュースを知らない人が見て、勘違いしない内容にまとめることが大切です。

その③日付が抜けている。あるいはニュースの日付がおかしいもの。

→特に、新型コロナウイルスは当初の話と今の話、専門家の話もだいぶ変わってきました。いつのニュースか、いつの情報かにこだわるスタンスをぜひ持ちましょう。みなさんの生きていく時代は「情報」がポイントになります。

なお、C評価の人は空欄があるまま出した人で2%、未提出者は12%でした。成績に関係なく、きちんとニュースをまとめて、賛否を書き、理由を書くというシンプルな課題です。この14%の人は他教科の勉強時間も十分に取れているのか、非常に心配です。しっかり取り組んでほしいと思います。

あともう少しで再開の、再会の時が来ます。今年度は1年間、家庭学習を重視する年になります。家で勉強する習慣づくり、頑張ってください。